

名前

およその数 切り捨ての練習

「切り捨てて十の位まで概数にしないさい」というときは、10に足りない数を0とみて2650にする。
 一の位を切り捨てる 十に足りない数7を0とみる

$$265\cancel{7} \rightarrow 2650$$

「切り捨てて百の位までの概数にしないさい」というときは、100に足りない数を0とみて3600にする。
 十の位以下を切り捨てる 100に足りない数79を0とみる

$$36\cancel{79} \rightarrow 3600$$

「切り捨てて千の位までの概数にしないさい」というときは、一つ下の位の百の位以下を切り捨てます。
 百の位以下を切り捨てる 千に足りない数761を0とみる

$$12\cancel{761} \rightarrow 12000$$

「切り捨てて万の位までの概数にしないさい」というときは、一つ下の位の千の位以下を切り捨てます。

千の位以下を切り捨てる 千に足りない数2358を0とみる

$$47\cancel{2358} \rightarrow 470000$$

次の整数を、切り捨てて()の中に書いてある位までの概数にしましょう。

① 285 (十)

② 496 (十)

③ 8849 (百)

④ 4572 (百)

⑤ 5156 (千)

⑥ 29750 (千)

⑦ 975230 (万)

⑧ 7409680 (万)

名前

およその数 切り上げの練習

「切り上げて十の位までの概数にしないさい」というときは、10に足りない数を10とみて十の位を1ふやして、2660にする。

十の位に1ふやして6

$$2654 \rightarrow 2660$$

「切り上げて百の位までの概数にしないさい」というときは、100に足りない数を100とみて百の位を1ふやして、3700にする。

$$3679 \rightarrow 3700$$

「切り上げて千の位までの概数にしないさい」というときは、1000に足りない数を1000とみて千の位を1ふやして、13000にする。

$$12764 \rightarrow 13000$$

「切り上げて一万の位までの概数にしないさい」というときは、10000に足りない数を10000とみて万の位を1ふやして、480000にする。

$$472358 \rightarrow 480000$$

次の整数を、切り上げて()の中に書いてある位までの概数にしましょう。

① 285 (十)

② 436 (十)

③ 8849 (百)

④ 4572 (百)

⑤ 5156 (千)

⑥ 28750 (千)

⑦ 975230 (万)

⑧ 7409680 (万)